

本研究は昭和49年度をもって初年度とし 大阪湾を例として上記探査技術の適用性の確立を行なう。

・地球化学・水文地質の各分野をとおして集めると共に昭和50年度より開始される坑内外の水文観測設備をととのえる。

2. 休廃止鉱山における坑廃水処理技術の研究

近年国内外の経済事情の急変により わが国金属鉱山の多くが休廃止する事態が生じている。もともと金属鉱山は特定の元素が集中濃縮して 鉱業活動によってそれらを採取し 人類の利用に供している所であり このような場所から発する湧水は 自然条件としても特殊の成分を含んである。この成分は流水となつて下流側の環境を汚染することが多く 常時無害化するような処理を行つて下流側に放流する必要がある。鉱山が休廃止した場合はこの処理は深刻な事態を招くものである。

本研究は初年度であるが 降水が地中に滲透して坑内湧水として出現するまでの経路の発見と 坑内湧水に含まれる特殊元素の由来を考察することによって 積極的に坑内湧水を止めたり あるいは坑内湧水の中でとくに環境汚染に関係する成分を含むものを選択して処置する方法を見出すような資料を提供する。

昭和49年度は東北工業試験所との共同の下に 山形県八谷鉱山を対象として 基礎的な各種データを鉱山地質

〔経 常 研 究〕

所 内 特 別 研 究

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 地質図幅の研究 | 2. 実験地質の研究 |
| 3. 地質標本の研究 | 4. コンピューター利用の研究 |

一 般 経 常 研 究

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 5. 地質の研究 | 6. 海洋地質の研究 |
| 7. 水資源の研究 | 8. 産業地質の研究 |
| 9. 環境地質の研究 | 10. 鉱物資源の研究 |
| 11. 探査の研究 | 12. 鉱床の研究 |
| 13. 鉱物の研究 | 14. 石炭地質の研究 |
| 15. 石油地質の研究 | 16. 物理探査の研究 |
| 17. 物理探査技術の研究 | 18. 応用地球物理の研究 |
| 19. 地球化学の研究 | 20. 化学の研究 |
| 21. 技術の研究 (地形・測量技術 試錐 試作技術) | |
| 22. 地域開発の研究 | 23. 資料業務 |
| 24. 海外地質調査協力業務 | 25. 地質相談業務 |

・日本地質学会

1. 昭和49年9月1日 (日)～3日(火)
2. 日本地質学会第81年総会ならびに学術大会
3. 北海道大学
4. 日本地質学会
5. 日本地質学会第81年総会準備委員会

5. 東北大学理学部地球物理学教室海洋物理学研究室
980 仙台市青葉 電話(0222)-27-6200 内線3255

・日本分光学会

1. 昭和49年5月22日(水)～23日(木)
2. 日本分光学会総会・春季講演会
3. 金属材料技術研究所 (東京都目黒区中目黒2-1-3 ☎153 電話(03)-719-2271)
4. 日本分光学会
5. 東京都新宿区百人町3-25-2 ☎160 応用光研工業株式会社(蚕糸ビル) 日本分光学会 電話(03)-362-7881

・日本地学教育学会

1. 昭和49年7月30日(火)～8月2日(金)
2. 日本地学教育学会第28回全国大会および第4回海外巡検
3. 千葉県教育会館 (千葉市千葉中央4丁目13-10 ☎280 電話(0472)-27-6141)
4. 日本地学教育学会
5. 東京都小金井市貫井 ☎184 東京学芸大学地学教室内 日本地学教育学会 電話(0423)-21-1741 内線345

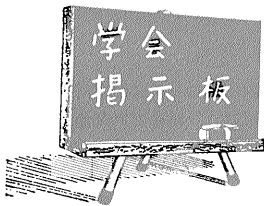
・日本鉱物学会・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会

1. 昭和49年10月14日(月)～17日(木)
2. 日本鉱物学会・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会 秋季連合学術講演会
3. 山口大学工学部本館 (755 宇部市常盤台)
4. 日本鉱物学会・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会
5. 山口大学工学部資源工学科 島 敏史 755 宇部市常盤台 電話(0836)-31-5100

・日本海洋学会

1. 昭和49年10月27日(日)～11月1日(金)
2. 昭和49年度日本海洋学会秋季大会
3. 仙台市民会館
4. 日本海洋学会

〔注〕 1. 開催年月 2. 会名 3. 会場 4. 主催者 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)



065 札幌市北区北十条西八丁目
北海道大学理学部地質教室内 電話(011)-711-2111